

無線ケーブルモデムゲートウェイ BCW700J 設定マニュアル



株式会社 ブロードネットマックス

目次

①はじめに	...	2
②簡単設定		
無線基本設定	...	4
無線暗号化設定	...	5
③基本設定		
IPネットワーク	...	8
DHCP設定	...	9
DDNS設定	...	10
バックアップ	...	11
設定初期化	...	12
ログイン設定	...	13
④無線LAN設定		
802.11無線設定	...	14
プライマリネットワーク	...	15
セカンダリネットワーク	...	19
無線詳細設定	...	23
アクセス制限	...	25
⑤詳細設定		
ゲートウェイオプション	...	26
IPアドレスフィルタ	...	27
MACアドレスフィルタ	...	28
ポートフィルタ	...	29
ポートフォワード	...	30
ポートトリガー	...	31
ファイアウォール	...	32
付録		
無線LAN対応機器情報	...	33

はじめにお読みください

このたびは、無線ケーブルモデムゲートウェイ「BCW700J」（以下、本製品）をご使用いただきましてありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の機能を十分にいかして正しくご利用いただくために、本製品同梱の「取扱説明書」をもあわせてお読みください。

「取扱説明書」には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。

お読みになったあとは、必ず大切に保存してください。

本書について

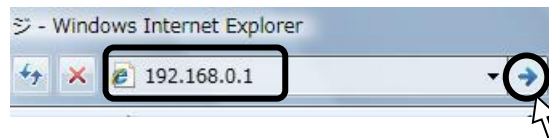
本書は、本製品についてのネットワーク設定をWEB画面に沿って説明しています。

本製品とWEB画面を確認する機器（パソコンなど）とのネットワークがあらかじめ接続されていることを確認してください。接続できない場合は、「取扱説明書」を再度お読みください。

本書は、予告なく変更、修正することがあります。また、ファームウェアのバージョンにより画面が多少異なることがあります。

本書の著作権は、株式会社ブロードネットマックスに帰属しています。

- (1) 本製品とパソコンとのネットワークが接続している状態で、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動して、Webブラウザのアドレスバーに「192.168.0.1」（本製品の管理用IPアドレス）と入力し、キーボードのENTERキーまたはWebブラウザのアクセスボタンをクリックします。



- * お客様で管理用IPアドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。
- * 本製品の無線LANのセカンダリネットワークからは本WEBページへのアクセスはできません。

- (2) ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、入力後にO.Kボタンをクリックします。本製品のユーザー名とパスワードは、本製品の側面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」「パスワード」をご確認ください。



- * お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- (3) 認証に成功しますと、以下のような画面が表示されます。
メニュー毎に各章をお読みください。

②簡単設定
③基本設定
④無線LAN設定
⑤詳細設定

簡単設定
基本設定
無線LAN設定
詳細設定

BCW700J

無線基本設定

無線暗号化設定

簡単設定

←表示中のメインメニュー

無線基本設定

←表示中のサブメニュー

SSID名、無線チャンネルなど、ワイヤレスに関する基本設定を行います。

ネットワークSSID

無線チャンネル 使用チャンネル: 1

帯域幅

コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ)

左側サブメニュー

無線基本設定
無線暗号化設定

本書のサブメニューを示します

左側サブメニュー

無線基本設定

無線暗号化設定

簡単設定

無線基本設定

SSID名、無線チャンネルなど、ワイヤレスに関する基本設定を行います。

ネットワークSSID

無線チャンネル 使用チャンネル: 1

帯域幅

コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ)



本設定内容についてはそのままの設定でご使用いただけます。

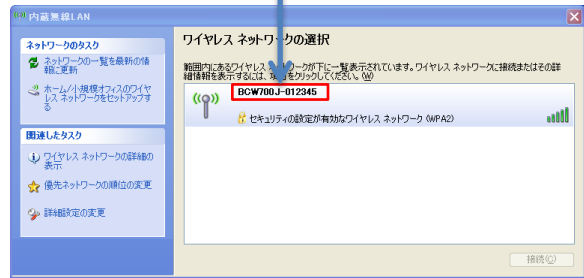
異なるアクセスポイントが複数表示された場合は電波が込み合っている可能性があります。電波の干渉により、通信速度の低下や、接続が不安定になることがあります。

使用する無線チャンネルを変更することで、改善される場合があります。

ネットワークSSID

無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。

初期値: 本製品の側面にあるラベルに記載されている「プライマリ-SSID」をご確認ください。



◆【無線LAN設定】⇒【プライマリネットワーク設定】⇒【ネットワークSSID】と同じ項目となります。

無線チャンネル 使用チャンネル: 1

無線LANで使用する電波のチャンネルを指定します。自動の場合、周囲の電波状況に応じてチャンネルが選択され、使用チャンネル:Xとして表示されます。

同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、干渉することがあります。

初期値: 自動

◆【無線LAN設定】⇒【802.11無線設定】⇒【無線チャンネル】と同じ項目となります。

自動	自動	自動
5	1	1
6	2	2
7	3	3
8	4	4
9	5	5
10	6	10
11	7	11
12	8	12
13	9	13

帯域幅が20MHzの場合1~13チャンネル。帯域幅が40MHzの場合、コントロールチャンネルが下側、上側によって1~9又は、5~13チャンネルとなります。

帯域幅

無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を指定します。802.11 b/g では20MHzの帯域幅を使用します。802.11n では20MHzのほか、40MHzを使用することでより高速な通信を実現します。同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、40MHzを指定していても20MHzとして動作することがあります。

初期値: 40MHz

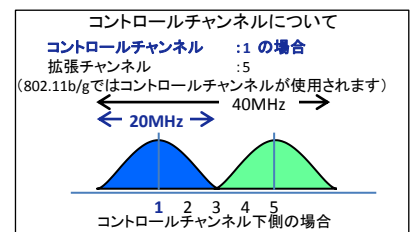
◆【無線LAN設定】⇒【802.11無線設定】⇒【帯域幅】と同じ項目となります。

コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ)

無線LAN 802.11n で使用する帯域幅を40MHzに指定した場合において、隣り合う20MHzのチャンネルのうちコントロールチャンネルとして下側と上側のどちらを使用するか指定します。

初期値: 下側

◆【無線LAN設定】⇒【802.11無線設定】⇒【コントロールチャンネル側波帯】と同じ項目となります。



- ・上記の変更内容を反映させる場合は、**【適用】**ボタンを押します。
- ・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**【初期値に戻す】**ボタンを押します。

左側サブメニュー

無線基本設定

無線暗号化設定

簡単設定
無線暗号化設定
ワイヤレス部分の暗号化の設定を行います。

セキュリティ WPA-PSK/WPA2-PSK

WPA/WPA2 設定
WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES
WPA暗号化キー ●●●●●●●● キー表示

簡単接続(WPS機能)
 WPS有効 WPS無効 WPS Config State: Configured
 無線アクセスポイントPINコード 01234567

WPS対応無線端末の追加
 端末のPINコードによる追加 WPS端末のPINコードを入力します。
 ソフトウェアボタンによる追加

WEP設定
 WEP暗号化強度 WEP (128-bit)
 ネットワークキー-1
 ネットワークキー-2
 ネットワークキー-3
 ネットワークキー-4
 パスフレーズ

6ページへ

7ページへ

セキュリティ WPA-PSK/WPA2-PSK

無線LANの暗号化規格を指定します。
 “WPA2”がセキュリティレベルが高く、次に“WPA”となります。
 “WEP”については、セキュリティが低いため、セキュリティを必要とする通信には使用しないことを推奨致します。
 “無効”の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことをお勧め致します。

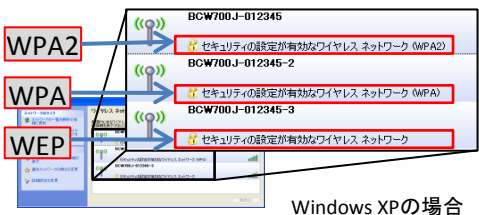
初期値：WPA-PSK/WPA2-PSK

- 無効
- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPA-PSK/WPA2-PSK
- WEP

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、セキュリティの高い【WPA2-PSK】が使用されます。通常はそのままでご利用いただけます。簡単設定(プライマリネットワーク)のセキュリティを【WEP】または、【無効】に設定した場合、簡単接続(WPS機能)が無効となります。

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定をWEPにすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セカンダリネットワークのみをWEPに設定して、プライマリネットワークと分けて使用することでセキュリティ低下を抑えることができます。 【無線LAN設定⇒セカンダリネットワーク】

19ページへ



暗号化規格別セキュリティレベル

	全て Disable	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA	WPA2
セキュリティレベル	なし	低<			>高

WPA-PSK,WPA2-PSKの「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となります。共有キーを使用して認証・暗号化します。

- ・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
- ・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

左側サブメニュー

無線基本設定

無線暗号化設定

WPA/WPA2設定

セキュリティ
WPA-PSK/WPA2-PSK

無効
WPA-PSK
WPA2-PSK
WPA-PSK/WPA2-PSK
WEP

WPA/WPA2 設定

WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES

WPA暗号化キー キー表示

簡単接続(WPS機能)

WPS有効 WPS無効 WPS Config State: Configured

無線アクセスポイントPINコード 01234567

WPS対応無線端末の追加

端末のPINコードによる追加 WPS端末のPINコードを入力します。

ソフトウェアボタンによる追加

WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES

AES
TKIP+AES

WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。

初期値:TKIP+AES

WPA暗号化キー キー表示

WPA暗号化キー 0123456789abcxyz キー表示



【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA-2PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

初期値:本製品側面のラベルに記載されている「WPA暗号キー」をご確認ください。

簡単接続(WPS機能)

WPS有効 WPS無効 WPS Config State: Configured

WPS対応端末では、WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、WPA-PSKまたは、WPA2-PSKのセキュリティに簡単接続することができます。WPS機能の有効/無効を指定します。本機能はセキュリティが「WEP」、「無効」設定時は利用できません。

初期値:WPS有効

● 本製品のPINコードをWPS対応端末に登録する場合

無線アクセスポイントPINコード 01234567

無線アクセスポイント(本製品)側のPINコードが表示されます。このPINコードをWPS対応端末に登録することで接続することができます。

● WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合

端末のPINコードによる追加 WPS端末のPINコードを入力します。

ソフトウェアボタンによる追加

WPS対応端末を操作し、端末側のPINコード確認します。次に、上図の[端末のPINコードによる追加]を選択し、右側の入力欄に端末側のPINコードを入力します。[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

● WPS対応端末のプッシュボタン方式を使い登録する場合

WPS対応端末を操作し、端末側のWPS押しボタンまたは、それに相当する機能を有効にします。次に、上図の[ソフトウェアボタンによる追加]を選択します。[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

01234567

[PINコードの生成]ボタンを押すと、新しいPINコードが生成されます。

[PINコードを初期化]ボタンを押すと初期のPINコードに戻ります。

WPS端末の追加

端末の接続を待っています。

WPS Status:In Progress

WPS端末の追加終了

"戻る"をクリックすると設定ページに戻ります。

WPS Status:Success!

- ・上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
- ・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。

左側サブメニュー

無線基本設定

無線暗号化設定

WEP 設定

セキュリティ WPA-PSK/WPA2-PSK

無効
WPA-PSK
WPA2-PSK
WPA-PSK/WPA2-PSK
WEP

WEP設定

WEP暗号化強度 WEP (64-bit)

ネットワークキー-1 012ab
 ネットワークキー-2 012ab
 ネットワークキー-3 012ab
 ネットワークキー-4 012ab

5文字(ASCII表記)

パスフレーズ WEPキーの生成

適用 初期値に戻す

WEP暗号化強度 WEP (64-bit) → WEP (64-bit)
WEP (128-bit)

セキュリティの項目を“WEP”に設定した場合に本設定が表示されます。
WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。
WPA/WPA2と共存させる場合はセカンダリSSID(サードSSID)を使用します。

初期値: WEP(128-bit) ……セキュリティ: WEP設定時

WEP (64-bit) -----5文字(ASCII表記)

ネットワークキー-1 012ab
 ネットワークキー-2 012ab
 ネットワークキー-3 012ab
 ネットワークキー-4 012ab

WEP (128-bit) -----13文字(ASCII表記)

ネットワークキー-1 123456789abcd
 ネットワークキー-2 123456789abcd
 ネットワークキー-3 123456789abcd
 ネットワークキー-4 123456789abcd

無線LAN暗号化方式WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。
ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。文字数の過不足があるとエラーが表示されます。
ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。

ネットワークキーの初期値 : (自動生成)
使用するネットワークキー : ネットワークキー:1

接続端末の初期値は、ネットワークキー-1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないで下さい。

パスフレーズ WEPキーの生成

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。

パスフレーズに文字列(英数字)を入力し、[WEPキーの生成]ボタンを押すとネットワークキー1~4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

適用 初期値に戻す

- 上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
- 上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。

左側サブメニュー

IPネットワーク

DHCP設定

DDNS設定

バックアップ

設定初期化

ログイン設定

基本設定

IPネットワーク設定情報

ローカルLANのIPアドレスの設定と、上位ネットワークの設定

LAN側のIPアドレス設定

IPv6 Address: 2001:aaaa:bbbb:ccdd:0211:22ff:fe33:4455/64
fe80::0211:22ff:fe33:4455
IPv6 Prefix: 2001:aaaa:bbbb:ccdd::/64
IPv4 Address: 192.168.0.1
MAC Address: 00:11:22:33:44:55

WAN側のIPアドレス設定

IPv6 Address: fe80::0230:54ff:fe77:8899
2001:aaaa:bbbb:eeff:1000
IPv4 Address: 172.25.11.10
MAC Address: 00:30:54:77:88:99
Duration: D: 00 H: 04 M: 00 S: 00
Expires: Wed Aug 03 18:00:00 2011
IPv4 DNS Servers: 192.168.129.254
IPv6 DNS Servers: 2001:aaaa:bbbb:1::40

IPアドレスの解放(Release)

IPアドレスの更新(Renew)

WAN側(上位ネットワーク)の接続タイプ DHCP
契約プロバイダから指示があった場合を除き、通常は、DHCPを選択下さい。

MTU Size 0 (256-1500間で設定、0=デフォルト設定)

適用

初期値に戻す

ケーブルテレビ事業者がIPv6サービスに対応している場合に表示されます。

ケーブルテレビ事業者がIPv4サービスに対応している場合に表示されます。



LAN側のIPアドレスを変更する場合
192.168.1.1, 192.168.2.1 などは、セカンダリネットワークのDHCPサーバで予約されているため変更できない場合があります。

WAN側(上位ネットワーク)の接続タイプ Static IP

IP Address	0	0	0	0
IP Mask	0	0	0	0
Default Gateway	0	0	0	0
Primary DNS	0	0	0	0
Secondary DNS	0	0	0	0

LAN側のIPアドレス設定

LAN側(プライベートネットワーク)で使用するIPアドレスが表示されます。

IPv4 Address: 192.168.0.1 ... 初期値192.168.0.1(本製品シールの"管理用アドレス"に記載)
IPv6 Address: 2001:aaaa:bbbb:ccdd:0211:22ff:fe33:4455/64 ... LAN側のIPv6のグローバルアドレスが表示されます。(例 200x:)
fe80::0211:22ff:fe33:4455 ... LAN側のIPv6のリンクローカルアドレスが表示されます。(fe80:)
IPv6 Prefix: 2001:aaaa:bbbb:ccdd::/64 ... DHCP-PDで取得したIPv6アドレスのプレフィックス部分が表示されます。
MAC Address: 00:11:22:33:44:55 ... LAN側のMACアドレスが表示されます。(本製品のシールには記載されていません)

WAN側のIPアドレス設定

WAN側(上位側のネットワーク)で使用するIPアドレスが表示されます。

IPv4 Address: 172.25.11.10 ... 上位ネットワークと通信するためのIPv4アドレスが表示されます。
IPv4 DNS Servers: 192.168.129.254 ... IPv4のDNSサーバアドレスが表示されます。
IPv6 Address: fe80::0230:54ff:fe77:8899 ... 上位ネットワーク(同一セグメント内)と通信するためのIPv6リンクローカルアドレスが表示されます。(fe80:)
2001:aaaa:bbbb:eeff:1000 ... 上位ネットワークと通信するためのIPv6グローバルアドレスが表示されます。(例 200x:)
IPv6 DNS Servers: 2001:aaaa:bbbb:1::40 ... IPv6のDNSサーバアドレスが表示されます。
MAC Address: 00:30:54:77:88:99 ... 上位ネットワークの通信用のMACアドレスが表示されます。(本製品シールの"WAN-MAC"に記載)
Duration: D: 00 H: 04 M: 00 S: 00 ... アドレスのリース期間が表示されます。
Expires: Wed Aug 03 18:00:00 2011 ... アドレスのリース使用期限が表示されます。

IPアドレスの解放(Release)

IPアドレスの更新(Renew)

WAN側で使用するIPアドレスを再取得する場合に使用します。

[IPアドレスの解放(Release)] => [IPアドレスの更新(Renew)] ボタンを押すと、即時有効となります。

WAN側(上位ネットワーク)の接続タイプ DHCP

ケーブルテレビ事業者から指示があった場合を除き、必ず[DHCP]を選択下さい。

MTU Size 0 (256-1500間で設定、0=デフォルト設定)

MTU サイズを指定します。 初期値:0

適用

初期値に戻す

・上記の変更内容を反映させる場合に[適用]ボタンを押します。([IPアドレスの解放] と [IPアドレスの更新] を除く)
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す] ボタンを押します。

左側サブメニュー

IPネットワーク

DHCP設定

DDNS設定

バックアップ

設定初期化

ログイン設定

基本設定

DHCP設定

LAN側のDHCPサーバの設定を行います。

DHCPサーバ機能 有効 無効

開始アドレス 192.168.0.10

終了アドレス 192.168.0.254

リースタイム 86400 秒

適用

初期値に戻す

DHCPクライアント情報

MAC Address	IP Address	サブネットマスク	動作時間	リース期限	選択
001122334455	192.168.000.010	255.255.255.000	D:01 H:00 M:00 S:00	Wed Mar 30 16:00:00 2011	<input type="radio"/>

現在のシステム時刻: Wed Mar 30 15:20:00 2011

強制削除

DHCPサーバ機能 有効 無効

LAN側(有線LAN、及び無線LANのプライマリネットワーク)のDHCPサーバ機能(IPアドレスの自動払い出し)の有効/無効を指定します。

開始アドレス 192.168.0.10

終了アドレス 192.168.0.254

IPアドレス払い出しの開始アドレスと、終了アドレスを指定します。

リースタイム 86400 秒

DHCPのリースタイムを指定します。

初期値: 86400 秒

適用

初期値に戻す

- 上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
- 上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。



本製品の管理用IPアドレスの初期値は、192.168.0.1 となります。

開始アドレスを10からにすることにより、2~9を固定アドレスで割り振るといったような使い方が可能となります。

DHCPクライアント情報

MAC Address	IP Address	サブネットマスク	動作時間	リース期限	選択
001122334455	192.168.000.010	255.255.255.000	D:01 H:00 M:00 S:00	Wed Mar 30 16:00:00 2011	<input type="radio"/>

現在のシステム時刻: Wed Mar 30 15:20:00 2011

強制削除

IPアドレスの払い出し状況を確認することができます。

クライアントのリース情報を削除する場合は、削除する行を選択して[強制削除]ボタンを押します。

左側サブメニュー

IPネットワーク

DHCP設定

DDNS設定

バックアップ

設定初期化

ログイン設定

基本設定

DDNS設定

ダイナミックDNSサービスの設定を行います。

DDNSサービス:

ユーザー名:

パスワード:

ホスト名:

IPアドレス: **0.0.0.0**

ステータス: *DDNS Service is not Enabled.*

適用

初期値に戻す



設定内容についてはそのままご使用いただけます。
必要な場合以外は設定しないで下さい。

DDNSサービス:

DDNS(Dynamic-DNS)サービスの有効・無効を指定します。



ユーザー名:

パスワード:

ホスト名:

IPアドレス: **172.25.11.47**

ステータス: *DDNS Service is not Enabled.*

DDNSサービスのユーザー名、パスワード、ホスト名を指定します。

IPアドレスとステータスの情報が表示されます。



適用

初期値に戻す

- ・上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
- ・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。

左側サブメニュー

IPネットワーク

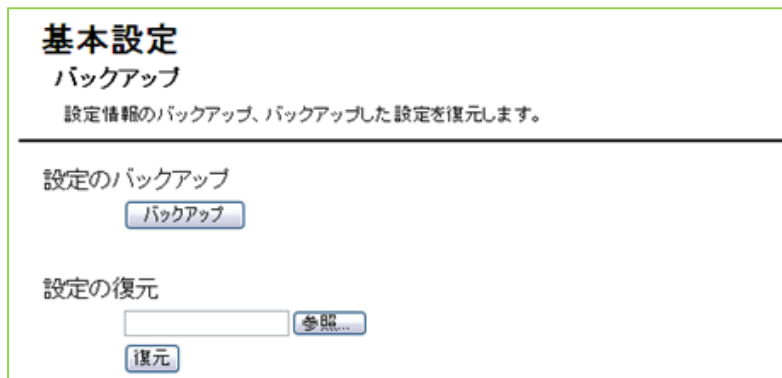
DHCP設定

DDNS設定

バックアップ

設定初期化

ログイン設定



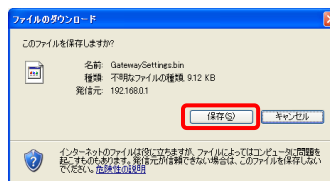
■ 本製品の設定情報をファイルに保存する場合(バックアップ)

バックアップ

[バックアップ]ボタンを押します。



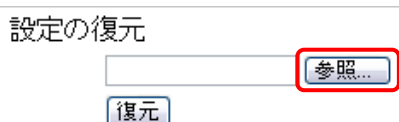
確認画面が表示されますので、[OK]を押します。



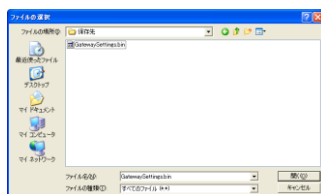
ファイルの保存画面が表示され、[保存]を押すと“GatewaySettings.bin”の名前で保存されます。

保存先例: My Documents¥ダウンロード¥GatewaySettings.bin
(使用するブラウザによって保存先が異なります。)

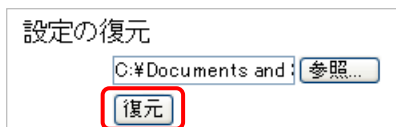
■ 保存した設定ファイルから復元する場合



[参照]ボタンを押します。



ファイルの選択画面が表示されますので、あらかじめ保存しておいた“GatewaySettings.bin”を選択し、[開く]ボタンを押します。



[復元]ボタンを押します。

再起動確認画面が表示されます。[OK]を押すと自動的に再起動し、設定が復元されます。
本製品が再起動しますので起動が完了するまで、インターネットなどの通信が切断されます。

💡 変更したパスワード情報も、設定ファイルに保存されます。

左側サブメニュー

IPネットワーク

DHCP設定

DDNS設定

バックアップ

設定初期化

ログイン設定

基本設定

設定初期化

設定情報を全て初期値に戻します。

設定情報を全て初期値に戻します はい いいえ

適用

設定情報を全て初期値に戻します はい いいえ

適用

[はい]を選択後[適用]ボタンを押すと自動で再起動します。
再起動後、本製品の設定情報は工場出荷時の状態に戻ります。
起動が完了するまで、インターネットなどへの通信が切断されます。



パスワード情報も初期値に戻ります。

左側サブメニュー

IPネットワーク

DHCP設定

DDNS設定

バックアップ

設定初期化

ログイン設定

基本設定

ログイン設定

Web設定画面のログインのID、パスワードを設定します。

変更するユーザーID名

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(再入力)

適用

● 変更するユーザーID名

変更するユーザーID名を入力します。



現在ログインしているユーザーのパスワードが変更可能となります。

● 現在のパスワード

変更するユーザーIDの現在のパスワードを入力します。

● 新しいパスワード
新しいパスワード(再入力) 変更するユーザーIDの新しいパスワードを入力します。
入力ミスを防ぐため、同じものを再入力します。

● 適用

[適用]ボタンを押すと新しいパスワードに変更されます。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

無線LAN設定

802.11無線設定

無線の基本設定を行います。

無線インタフェース: BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)

ワイヤレス機能有効化

送信パワー

無線周波数帯域

802.11nモード

帯域幅

コントロールチャンネル側波帯 (40MHz設定時のみ)

無線チャンネル 使用チャンネル: 1

無線インタフェース: BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)
 BCW700J-XXXXXX-2 (00:1A:2B:00:00:01)
 BCW700J-XXXXXX-3 (00:1A:2B:00:00:02)

セカンダリ(サード)SSIDが有効の場合

本設定内容についてはそのままの設定でご使用いただけます。

異なるアクセスポイントが複数表示された場合は電波が込み合っている可能性があります。電波の干渉により、通信速度の低下や、接続が不安定になることがあります。

使用する無線チャンネルを変更することで、改善される場合があります。

本製品の無線LANインターフェースの共通の設定を変更します

無線インタフェース: BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)

本製品の無線LANインターフェースの情報が表示されます。(セカンダリネットワークが有効の場合複数表示されます)

ワイヤレス機能有効化 →

本製品の無線LAN機能の有効/無効を指定します。
初期値: 有効

送信パワー →

無線LANの送信パワーを指定します。
初期値: 100%

無線周波数帯域

無線LANの周波数帯域を指定します。
(802.11b/gと同じ2.4GHz帯のみとなります。)
初期値: 2.4GHz

802.11nモード →

無線LAN 802.11nのモードを有効(自動)/無効にするかを指定します。
802.11nで接続するには、接続する端末が規格に対応している必要があります。

無効にした場合は、802.11b(最大11Mbps), 802.11g(最大54Mbps)として動作します。
初期値: 自動

帯域幅

無線LAN 802.11nで使用する帯域幅を指定します。802.11b/gでは20MHzの帯域幅を使用します。
802.11nでは20MHzのほか、隣り合う2つのチャンネル帯域幅の40MHzを使用することでより高速な通信を実現します。

同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、40MHzを指定していても20MHzとして動作することがあります。
初期値: 40MHz

コントロールチャンネル側波帯 →

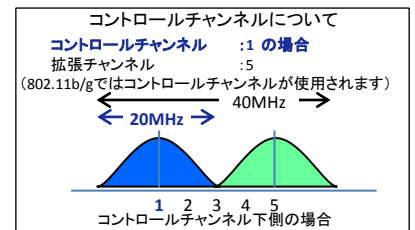
無線LAN 802.11nで使用する帯域幅を40MHzに指定した場合において、隣り合う20MHzのチャンネルのうちコントロールチャンネルとして下側と上側のどちらを使用するか指定します。
初期値: 下側

無線チャンネル 使用チャンネル: 1 →

自動	自動
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8
8	9
9	10
10	11
11	12
12	13
13	9

無線LANで使用する電波のチャンネルを指定します。
自動の場合、周囲の電波状況に応じてチャンネルが選択され、使用チャンネル:Xとして表示されます。

同じ無線チャンネルを使用した機器が周囲にある場合、干渉することがあります。
初期値: 自動



帯域幅が20MHzの場合1~13チャンネル。
 帯域幅が40MHzの場合、コントロールチャンネルが下側、上側によって1~9又は、5~13チャンネルとなります。

- 上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
- 上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

無線LAN設定

プライマリネットワーク設定

プライマリのワイヤレスネットワークの設定と、暗号化の設定を行います。

プライマリネットワーク

BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)

プライマリネットワークのセキュリティー設定

プライマリネットワーク有効化 有効

ネットワークSSID BCW700J-XXXXXX

SSID非公開
(ブロードキャストしない) 公開無線LAN端末間通信禁止機能 通信許可

セキュリティー WPA-PSK/WPA2-PSK

16ページへ

WPA/WPA2 設定

WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES

WPA暗号化キー ●●●●●●●● キー表示

グループキーの交換間隔 0

簡単接続(WPS機能)

 WPS有効 WPS無効 WPS Config State: Configured無線アクセスポイントPINコード 01234567

WPS対応無線端末の追加

 端末のPINコードによる追加 WPS端末のPINコードを入力します。 ソフトウェアボタンによる追加

17ページへ

WEP設定

WEP暗号化強度 WEP (128-bit)

共通鍵認証 任意

 ネットワークキー-1 ネットワークキー-2 ネットワークキー-3 ネットワークキー-4 パスフレーズ

18ページへ



プライマリネットワーク

BCW700J-XXXXXX (00:1A:2B:00:00:00)

…SSID名 (MACアドレス)

無線LANのプライマリネットワークの設定を行います。
現在のプライマリネットワークのSSID名と無線LANのMACアドレスが表示されます。

- 上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
- 上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

プライマリネットワークのセキュリティ設定

プライマリネットワーク有効化

ネットワークSSID

SSID非公開
(ブロードキャストしない)

無線LAN端末間通信禁止機能

セキュリティ

無線LANのプライマリネットワークの有効/無効を指定します。
初期値: 有効

無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。
初期値: 本製品の側面にあるラベルに記載されている
「プライマリSSID」をご確認ください。

「SSID非公開」を「公開」にした場合、無線LAN端末から本ネットワークSSIDを検索することができます。
“非公開”に設定した場合は、検索することができません。
なお、“非公開”を選択するには、簡単接続(WPS機能)を無効にする必要があります。
初期値: 公開

同じネットワークSSIDに接続している無線LAN端末間の通信を遮断することができます。
初期値: 通信許可



無線LANの暗号化規格を指定します。
“WPA2”がセキュリティレベルが高く、次に“WPA”となります。
“WEP”については、セキュリティが低いため、セキュリティを必要としない通信のみに使用することを推奨致します。

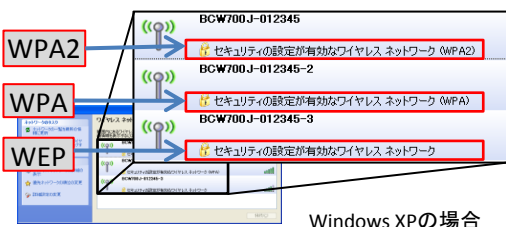
“無効”の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことをお勧め致します。

初期値: WPA-PSK/WPA2-PSK



【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、セキュリティの高い【WPA2-PSK】が使用されます。通常はそのままご使用いただけます。
簡単設定(プライマリネットワーク)のセキュリティを【WEP】または、【無効】に設定した場合、簡単接続(WPS機能)が無効となります。

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定をWEPにすると、他の無線LAN機器のセキュリティが低下します。そのため、セカンダリネットワークのみをWEPに設定して、プライマリネットワークと分けて使用することでセキュリティ低下を抑えることができます。 【無線LAN設定⇒セカンダリネットワーク】



Windows XPの場合

暗号化規格別セキュリティレベル

	全て Disable	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA	WPA2
セキュリティレベル	なし	低←			→高

WPA-PSK,WPA2-PSKの「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となります。
共有キーを使用して認証・暗号化します。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

WPA/WPA2 設定

セキュリティ WPA-PSK/WPA2-PSK ▼

WPA/WPA2 設定

WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES ▼

WPA暗号化キー キー表示

グループキーの交換間隔

簡単接続(WPS機能)

WPS有効 WPS無効 WPS Config State: Configured

無線アクセスポイントPINコード

WPS対応無線端末の追加

端末のPINコードによる追加 WPS端末のPINコードを入力します。

ソフトウェアボタンによる追加

無効

WPA-PSK

WPA2-PSK

WPA-PSK/WPA2-PSK

WEP

WPA/WPA2 暗号化方式 TKIP+AES ▼

AES
TKIP+AES

WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。

初期値: TKIP+AES

WPA暗号化キー キー表示

WPA暗号化キー キー表示

WPA-PSK、WPA-2PSKで使用するWPA暗号キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

初期値: 本製品の側面にあるラベルに記載されている「WPA暗号キー」をご確認ください。



【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。文字数は13文字以上を推奨します。

グループキーの交換間隔

グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。
初期値: 0



必要がある場合以外は変更しないで下さい。

簡単接続(WPS機能)

WPS有効 WPS無効 WPS Config State: Configured

WPS対応端末では、WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、WPA-PSKまたは、WPA2-PSKのセキュリティに簡単接続することができます。WPS機能の有効/無効を指定します。本機能はセキュリティが「WEP」、「無効」設定時は利用できません。

初期値: WPS有効

● 本製品のPINコードをWPS端末に登録する場合

無線アクセスポイントPINコード

無線アクセスポイント(本製品)側のPINコードが表示されます。このPINコードをWPS対応端末に登録することで接続することができます。

● WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合

端末のPINコードによる追加 WPS端末のPINコードを入力します。

ソフトウェアボタンによる追加

WPS対応端末を操作し、端末側のPINコード確認します。次に、上図の[端末のPINコードによる追加]を選択し、右側の入力欄に端末側のPINコードを入力します。[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

● WPSのプッシュボタン方式を使い追加する場合

WPS対応端末を操作し、端末側のWPS押しボタンまたは、それに相当する機能を有効にします。

次に、上図の[ソフトウェアボタンによる追加]を選択します。

[WPS対応端末の追加]ボタンを押すと、右のような[WPS端末の追加]画面に切り替わり、接続が問題なく完了すると、[WPS端末の追加終了]画面に切り替わります。

[PINコード生成]ボタンを押すと、新しいPINコードが生成されます。

[PINコードの初期化]ボタンを押すと初期のPINコードに戻ります。

WPS端末の追加

端末の接続を待っています。

WPS Status: In Progress

WPS端末の追加終了

戻る。をクリックすると設定ページに戻ります。

WPS Status: Success

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

WEP 設定

セキュリティ WPA-PSK/WPA2-PSK

WEP暗号化強度 WEP (64-bit)

共通鍵認証 任意

ネットワークキー1 012ab

ネットワークキー2 012ab

ネットワークキー3 012ab

ネットワークキー4 012ab

パスフレーズ

WEPキーの生成

無効
WPA-PSK
WPA2-PSK
WPA-PSK/WPA2-PSK
WEP

WEP暗号化強度 WEP (64-bit)

WEP (64-bit)
WEP (128-bit)

セキュリティの項目を“WEP”に設定した場合に本設定が表示されます。
WEP接続の暗号化強度を指定します。
WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。
WPA/WPA2と共存させる場合はセカンダリSSID(サードSSID)を使用します。

初期値: WEP(128-bit) ...セキュリティ: WEP設定時

共通鍵認証 任意

任意
必須

無線LAN接続の認証にWEPキーを用いて認証するか指定します。
必須の場合はWEPキーを用いて認証しますが、端末側の設定が対応していない場合接続することができません。

初期値: 任意



必要な場合以外は変更しないで下さい。

WEP (64-bit) 5文字(ASCII文字)

ネットワークキー1 012ab

ネットワークキー2 012ab

ネットワークキー3 012ab

ネットワークキー4 012ab

WEP (128-bit) 13文字(ASCII文字)

ネットワークキー1 123456789abcd

ネットワークキー2 123456789abcd

ネットワークキー3 123456789abcd

ネットワークキー4 123456789abcd

WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。
ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。文字数の過不足があるとエラーが表示されます。
ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。

ネットワークキーの初期値 : (自動生成)
使用するネットワークキー : ネットワークキー:1



接続端末の初期値は、ネットワークキー1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないで下さい。

パスフレーズ

WEPキーの生成

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。

パスフレーズに文字列(英数字)を入力し、[WEPキーの生成]ボタンを押すとネットワークキー1~4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

適用

初期値に戻す

上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

無線LAN設定

セカンダリネットワーク設定

2つ目以降のSSIDの無線の設定を行います。

セカンダリネットワークの選択

セカンダリネットワークのセキュリティー設定

セカンダリネットワーク有効化

セカンダリネットワークSSID

SSID非公開 (ブロードキャストしない)

無線LAN端末間通信禁止機能

セキュリティー

20ページへ

セカンダリネットワークのアドレス設定

IPアドレス

サブネットマスク

開始ブールアドレス

終了ブールアドレス

リースタイム 秒

21ページへ

WPA/WPA2 設定

WPA/WPA2 暗号化方式

WPA暗号化キー キー表示

グループキーの交換間隔

22ページへ

WEP設定

WEP暗号化強度

共通鍵認証

ネットワークキー-1

ネットワークキー-2

ネットワークキー-3

ネットワークキー-4

パスフレーズ

セカンダリネットワークの選択

-
-

…SSID名(MACアドレス)

無線LANのセカンダリネットワークの設定を行います。
 プライマリネットワークのSSIDとは別に、2つのSSIDのネットワークを追加できます(マルチSSID)。
 設定を変更または確認するSSID名を選択します。

- ・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
- ・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

セカンダリネットワークの選択 BCW700J-XXXXXX-2 (02:1A:2B:00:00:01)

セカンダリネットワークのセキュリティー設定

セカンダリネットワーク有効化 **有効**

セカンダリネットワークSSID BCW700J-XXXXXX-2

SSID非公開
(ブロードキャストしない) **公開**

無線LAN端末間通信禁止機能 **通信許可**

セキュリティー **WEP**

2つ目以降(2,3)のSSIDが表示されます。
設定を行うSSIDを選択します。

セカンダリネットワーク有効化 **有効** → **無効**

無線LANのセカンダリネットワークの有効/無効を指定します。
初期値: 無効

セカンダリネットワークSSID BCW700J-XXXXXX-2

無線LANで使用するアクセスポイントの識別名を指定します。
初期値: 「プライマリSSID名」+「-2」
初期値: 「プライマリSSID名」+「-3」

SSID非公開(ブロードキャストしない) **公開**

「SSID非公開」を「公開」にした場合、無線LAN端末から本ネットワークSSIDを検索することができます。
「非公開」に設定した場合は、検索することができません。

初期値: 公開

無線LAN端末間通信禁止機能 **通信許可** → **通信禁止**

同じネットワークSSIDに接続している無線LAN端末間の通信を遮断することができます。
初期値: 通信許可



セキュリティー **WEP** → **無効**
WPA-PSK
WPA2-PSK
WPA-PSK/WPA2-PSK
WEP

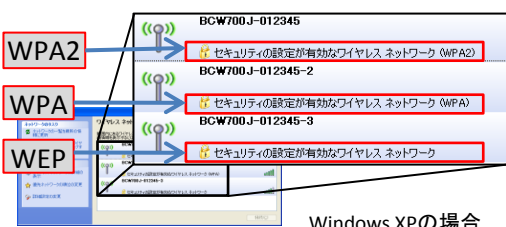
無線LANの暗号化規格を指定します。
“WPA2”がセキュリティーレベルが高く、次に“WPA”となります。
“WEP”については、セキュリティーが低いいため、セキュリティーを必要としない通信のみに使用することを推奨致します。

“無効”の場合、無線LAN端末が自由に接続することが可能となり、暗号化もされませんので使用しないことをお勧め致します。

初期値: WEP

一部のゲーム機などで【WEP】のみ対応の場合は、本設定を【WEP】にすると、他の無線LAN機器のセキュリティーが低下します。そのため、セキュリティーを必要としない通信のみに限定してセカンダリネットワークを使用します。
プライマリネットワークとセカンダリネットワークを分けて使用することで、セキュリティーの低下を抑えることができます。

【WPA-PSK/WPA2-PSK】は【WPA-PSK】、【WPA2-PSK】の混在モードです。接続端末が両方の暗号化規格に対応している場合、セキュリティーの高い【WPA2-PSK】が使用されます。



Windows XPの場合

暗号化規格別セキュリティーレベル

	全て Disable	WEP (64-bit)	WEP (128-bit)	WPA	WPA2
セキュリティーレベル	なし	低←			→高

WPA-PSK,WPA2-PSKの「PSK(Pre-Shared Key)」は認証方式となります。
共有キーを使用して認証・暗号化します。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

セカンダリネットワークのアドレス設定

IPアドレス 192.168.1 . 1

サブネットマスク 255.255.255 . 0

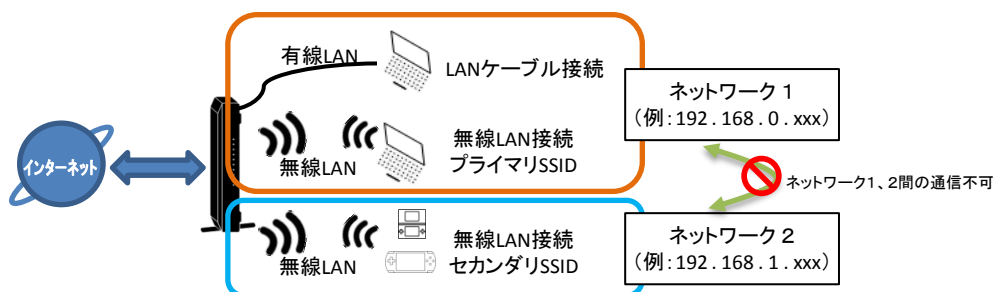
開始ブールアドレス 192.168.1 . 10

終了ブールアドレス 192.168.1 . 30

リースタイム 86400 秒

セカンダリネットワークのアドレス設定

セカンダリネットワークのアドレスを設定します。
セカンダリネットワークは、プライマリネットワーク(有線LANネットワークを含む)と異なるネットワークアドレスとなります。
そのため、セカンダリネットワークでは、プライマリネットワークの無線LAN及び有線LANとの通信はできません。



IPアドレス 192.168.1 . 1

セカンダリネットワークのゲートウェイIPアドレスを指定します。

初期値(2nd) : 192.168.1.1 初期値(3rd) : 192.168.2.1

サブネットマスク 255.255.255 . 0

セカンダリネットワークのサブネットマスクを指定します。

初期値: 255.255.255.0

開始アドレス 192.168.1 . 10

終了アドレス 192.168.1 . 30

セカンダリネットワークのDHCPサーバから払い出されるアドレスレンジを、開始アドレスと終了アドレスで指定します。

初期値(2nd) 初期値(3rd)

開始アドレス: 192.168.1.10 192.168.2.10

終了アドレス: 192.168.1.30 192.168.2.30

リースタイム 86400 秒

DHCPのリースタイムを指定します。

初期値: 86400

セカンダリネットワークからは、本製品の設定画面にアクセスできません。プライマリネットワークからおこなってください。

LAN側のIPアドレスを変更する場合192.168.0.1, 192.168.1.1, 192.168.2.1は、プライマリ及びセカンダリネットワークのDHCPサーバで予約されているため、設定できない場合があります。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

「WPA/WPA2」及び「WEP」設定

WPA/WPA2 設定

WPA/WPA2 暗号化方式
 WPA暗号化キー キー表示
 グループキーの交換間隔

WEP設定

WEP暗号化強度
 共通鍵認証
 ネットワークキー-1
 ネットワークキー-2
 ネットワークキー-3
 ネットワークキー-4
 パスフレーズ

WPA/WPA2 暗号化方式 →

WPA及びWPA2で使用する暗号化方式を指定します。セキュリティ強度が高く、処理速度の低下のない[AES]のみか、互換性を優先して両対応の[TKIP+AES]を選択します。[TKIP+AES]の設定の場合、無線LAN端末が両対応であれば[AES]を使用します。

初期値: TKIP+AES

WPA暗号化キー キー表示
 WPA暗号化キー キー表示

【WPA暗号化キー】は7文字以下の場合エラーとなります。文字数は13文字以上を推奨します。

WPA-PSK、WPA-2PSKで使用するWPA暗号化キーを指定します。また、[キー表示]のチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。

初期値: 本製品の側面にあるラベルに記載されている「WPA暗号化キー」をご確認ください。

グループキーの交換間隔

グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。
初期値: 0

必要がある場合以外は変更しないで下さい。

WEP暗号化強度 →

セキュリティの項目を「WEP」に設定した場合に本設定が表示されます。

WEP接続の暗号化強度を指定します。

WPA/WPA2と比べ、セキュリティ強度は低くなります。

初期値: WEP(128-bit) ...セキュリティ: WEP設定時

共通鍵認証 →

無線LAN接続の認証にWEPキーを用いて認証するか指定します。必須の場合はWEPキーを用いて認証しますが、端末側の設定が対応していない場合接続することができません。

初期値: 任意

必要な場合以外は変更しないで下さい。

5文字(ASCII文字)

ネットワークキー-1
 ネットワークキー-2
 ネットワークキー-3
 ネットワークキー-4

13文字(ASCII文字)

ネットワークキー-1
 ネットワークキー-2
 ネットワークキー-3
 ネットワークキー-4

WEPのネットワークキーの確認と変更ができます。

ネットワークキーはWEP暗号化強度によって文字数が決まっています。文字数の過不足があるとエラーが表示されます。

ネットワークキーは4つまで設定することが可能です。

ネットワークキーの初期値 : (自動生成)
 使用するネットワークキー : ネットワークキー:1

接続端末の初期値は、ネットワークキー-1が使用されますので、必要な場合以外は変更しないで下さい。

パスフレーズ

ネットワークキーの文字列をパスフレーズより自動生成することができます。パスフレーズに文字列(英数字)を入力し[WEPキーの生成]ボタンを押すとネットワークキー-1~4全てに同じ文字列が生成され、設定されます。

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

無線LAN設定

無線詳細設定

無線部分の詳細の設定を行います。

54g™ Mode

Basic Rate Set

54g™ Protection

XPress™ Technology

Afterburner™ Technology

Rate

Beacon Interval

DTIM Interval

Fragmentation Threshold

RTS Threshold

NPHY Rate

802.11n Protection

Multicast Rate

本ページの無線詳細設定は、必要がある場合以外は変更しないで下さい。変更内容によっては接続できなくなることがあります。

54g™ Mode →

無線LANの54g™の設定を変更します。(802.11n無効時)
 初期値: 54g Auto
 ・ [54g Auto] 互換性重視、通常はAutoを選択
 ・ [54g Performance] パフォーマンス優先
 ・ [54g LRS] (Limited Rate Support) 古い802.11bの端末で問題がある場合のみのモード(パフォーマンスが低下することがあります)
 ・ [802.11b Only] 802.11bモード(最大11Mbps)のみの接続

[無線LAN設定] ⇒ [802.11無線設定]
 802.11nモード

設定が無効の場合に設定変更可能

Basic Rate Set →

Basic Rateを指定します。
 初期値: 標準

54g™ Protection →

・ [自動] 802.11b/gの混在環境で802.11bとの衝突を防ぐ保護メカニズム(RTS/CTS)を使用します。
 ・ [なし] 802.11bが接続されていない環境では、保護メカニズムを使用せずに全パフォーマンスを使用できます。
 初期値: 自動

XPress™ Technology

無線データ伝送のネットワークパフォーマンスを向上させるフレームバースト技術。
 初期値: 無効

Afterburner™ Technology

無線データ伝送の802.11g通信上でネットワークパフォーマンスを向上させるフレームバースト及びデータ圧縮技術。
 初期値: 無効

Rate →

802.11nが無効時の無線LANの最大伝送速度を指定します。
 初期値: 自動 (11b:最大11Mbps, 11g:最大54Mbps)

【54g™ Mode】が[§][802.11b only]の場合

【54g™ Mode】が[§][54g Auto], [54g Performance], [54g LRS]の場合

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

無線LAN設定

無線詳細設定

無線部分の詳細の設定を行います。

54g™ Mode

Basic Rate Set

54g™ Protection

XPress™ Technology

Afterburner™ Technology

Rate

Beacon Interval

DTIM Interval

Fragmentation Threshold

RTS Threshold

NPHY Rate

802.11n Protection

Multicast Rate

本ページの無線詳細設定は、必要がある場合以外は変更しないで下さい。変更内容によっては接続できなくなることがあります。

Beacon Interval

アクセスポイントから一定間隔で送られる、同期用のパケット(ビーコン)の間隔を指定します。
初期値: 100 (ms) 10~30000ms

DTIM Interval

同期用のパケット(ビーコン)に対して、この設定で指定した回数に1回DTIM(Delivery Traffic Indication Message)が含まれます。省電力モードの無線LAN端末において、DTIMが含まれているとき受信を行います。それ以外は仮眠状態となります。
初期値: 1

Fragmentation Threshold

パケットを送信する際の分割サイズを指定します。設定したサイズよりも大きなパケットを送信するときパケットを分割します。
初期値: 2346 入力範囲: 256~2346

RTS Threshold

アクセスポイントから無線LAN端末へデータのパケットを送信する前に、RTS(送信要求)パケットを送信して、データを送信して良いか確認します。この閾値を小さくすると、RTSの回数が増え、一般的にスループットが低下します。
初期値: 2347 入力範囲: 1~2347

NPHY Rate

802.11n有効時の無線LANの最大伝送速度を指定します。
初期値: 自動 (11b:最大11Mbps, 11g:最大54Mbps, 11n:最大130Mbps or 270Mbps)

802.11n Protection

・[自動] 802.11b/gが周囲に混在する環境では、802.11b/gと802.11nとの通信の衝突を防ぐように動作します。
・[なし] 802.11b/gが周囲に混在しない環境では、保護メカニズムを使用せずに全パフォーマンスを使用できます。
初期値: 自動

Multicast Rate

マルチキャストの転送レートを指定します。
初期値: 自動

・上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。

自動
Use Legacy Rate
0: 6.5 Mbps or 13.5 Mbps
1: 13 Mbps or 27 Mbps
2: 19.5 Mbps or 40.5 Mbps
3: 26 Mbps or 54 Mbps
4: 39 Mbps or 81 Mbps
5: 52 Mbps or 108 Mbps
6: 58.5 Mbps or 121.5 Mbps
7: 65 Mbps or 135 Mbps
8: 13 Mbps or 27 Mbps
9: 26 Mbps or 54 Mbps
10: 39 Mbps or 81 Mbps
11: 52 Mbps or 108 Mbps
12: 78 Mbps or 162 Mbps
13: 104 Mbps or 216 Mbps
14: 117 Mbps or 243 Mbps
15: 130 Mbps or 270 Mbps

自動
1 Mbps
2 Mbps
5.5 Mbps
6 Mbps
9 Mbps
11 Mbps
12 Mbps
18 Mbps
24 Mbps
36 Mbps
48 Mbps
54 Mbps

左側サブメニュー

802.11無線設定

プライマリネットワーク

セカンダリネットワーク

無線詳細設定

アクセス制限

無線LAN設定

アクセス制限

ワイヤレスネットワークへアクセスする端末をMACアドレスで制限する設定を行います。

無線インターフェース ▼

MACアドレス限定方法 ▼

MACアドレス(例:00:11:22:33:44:55)

<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

無線接続端末

MACアドレス	Age(s)	RSSI(dBm)	IP Addr	Host Name	Mode	Speed (kbps)
ZZ:ZZ:ZZ:00:00:00	0	0	192.168.0.10	NotePC	n	300000
YY:YY:YY:00:00:00	2	0	192.168.1.10	MobilePC	g	54000

無線インターフェース ▼

アクセス制限を行うネットワークのSSID名を選択します。

MACアドレス限定方法 ▼

選択した無線LANインターフェースにおいて、MACアドレスによるアクセス制限機能を設定します。

- ・[無効]現在の無線インターフェースにおいてアクセス制限機能を無効にします。
- ・[許可]現在の無線インターフェースにおいて指定したMACアドレスのみアクセスを許可します。
- ・[拒否]現在の無線インターフェースにおいて指定したMACアドレスのみアクセスを拒否にします。

初期値: 無効

MACアドレス(例:00:11:22:33:44:55)

<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

各インターフェースにMACアドレスを16件まで登録ができます。

- ・上記の変更内容を反映させる場合は、**[適用]**ボタンを押します。
- ・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、**[初期値に戻す]**ボタンを押します。

無線接続端末

MACアドレス	Age(s)	RSSI(dBm)	IP Addr	Host Name	Mode	Speed (kbps)
ZZ:ZZ:ZZ:00:00:00	0	0	192.168.0.10	NotePC	n	300000
YY:YY:YY:00:00:00	2	0	192.168.1.10	MobilePC	g	54000

本製品に無線LANで接続されている端末のMACアドレスなどの情報が表示されます。

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション

IPアドレスフィルタ

MACアドレスフィルタ

ポートフィルタ

ポートフォワード

ポートトリガー

ファイアウォール

詳細設定

ゲートウェイオプション設定

ゲートウェイのオプション設定を行います。

- WAN側からのPing応答の禁止 有効
- IPsecパススルー 有効
- PPTPパススルー 有効
- マルチキャスト疎通の有効化 有効
- UPnPの有効化 有効

適用

初期値に戻す

パススルーするMACアドレス (設定例: 01:23:45:67:89:AB)

MACアドレスの追加

アドレスエントリー数: 0/32

MACアドレスの消去

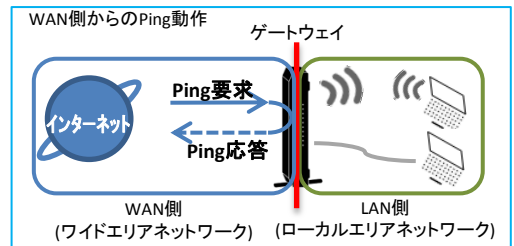
全て消去

- WAN側からのPing応答の禁止 有効
WAN側からの本製品宛のPing要求に対してPingの応答を禁止するか指定します。
初期値: 有効 (Pingの応答をしない)
- IPsecパススルー 有効
インターネットで暗号化通信を行うための規格。仮想プライベートネットワーク(VPN)などで利用されます。この通信を通過させるか指定します。
初期値: 無効 (IPsecを通さない) (IPsec: Security Architecture for IP)
- PPTPパススルー 有効
インターネットで暗号化通信を行うための規格。仮想プライベートネットワーク(VPN)などで利用されます。この通信を通過させるか指定します。
初期値: 無効 (PPTPを通さない) (PPTP: Point-to-Point Tunneling Protocol)
- マルチキャスト疎通の有効化 有効
マルチキャストを通すか指定します。
初期値: 有効 (マルチキャストを通す)
- UPnPの有効化 有効
UPnP機能を使用するか指定します。
無効にした場合UPnP機能を利用した音声・映像チャット、ゲームなどの通信でアプリケーション・機器が制限されたり、動作しなくなる可能性があります。
初期値: 有効 (UPnP: Universal Plug and Play)

適用

初期値に戻す

- 上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
- 上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。



- パススルーするMACアドレス (設定例: 01:23:45:67:89:AB)
- MACアドレスの追加
-
- アドレスエントリー数: 0/32
- MACアドレスの消去
- 全て消去

IPsecパススルー、PPTPパススルーをさせる機器のMACアドレスを指定します。MACアドレスを入力し、[MACアドレスの追加]ボタンを押します。MACアドレスを削除する場合は、[全て消去]ボタンを押すか、削除する値を選択して、[MACアドレスの消去]ボタンを押します。最大32件まで登録可能。

左側サブメニュー

- ゲートウェイオプション
- IPアドレスフィルタ**
- MACアドレスフィルタ
- ポートフィルタ
- ポートフォワード
- ポートトリガー
- ファイアウォール

詳細設定

IPアドレスフィルタ設定

LAN側の端末に対する不要なトラフィックをIPアドレスでフィルタリングします。

IPアドレスフィルタ		
開始アドレス	終了アドレス	有効
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.1.0	192.168.1.0	<input type="checkbox"/>
192.168.1.0	192.168.1.0	<input type="checkbox"/>
192.168.2.0	192.168.2.0	<input type="checkbox"/>
192.168.2.0	192.168.2.0	<input type="checkbox"/>
192.168.2.0	192.168.2.0	<input type="checkbox"/>

10件まで登録可能

セカンダリ(サード)SSIDが有効の場合表示されます

適用

IPアドレスフィルタ

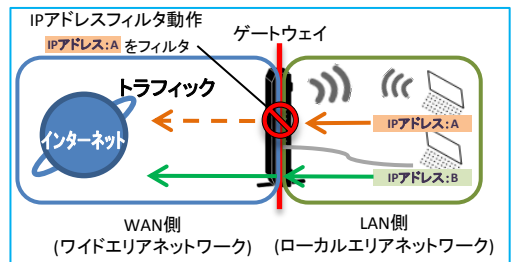
開始アドレス	終了アドレス	有効
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>

指定したLAN側のIPアドレスからのトラフィックをブロックします。
 ブロックするLAN側のIPアドレスを、開始アドレスと終了アドレスで指定します。
 ブロックする場合はチェックを入れます。
 最大10件分を登録できます。

初期値: 無効(ブロックしない)

適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。



左側サブメニュー

ゲートウェイオプション

IPアドレスフィルタ

MACアドレスフィルタ

ポートフィルタ

ポートフォワード

ポートトリガー

ファイアウォール

詳細設定

MACアドレスフィルタ設定

LAN側の端末に対する不要なトラフィックをMACアドレスでフィルタリングします。

MACアドレス (設定例: 01:23:45:67:89:AB)

MACアドレスの追加

01:23:45:67:89:ab

アドレスエントリー数: 1/20

MACアドレスの消去

全て消去



MACアドレス (設定例: 01:23:45:67:89:AB)

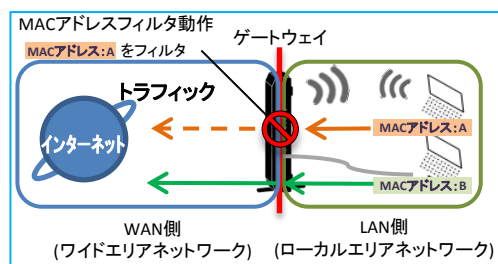
MACアドレスの追加

01:23:45:67:89:ab

アドレスエントリー数: 1/20

MACアドレスの消去

全て消去



指定したLAN側のMACアドレスからのトラフィックをブロックします。
 ブロックするMACアドレスを指定します。
 最大20件のMACアドレスを登録できます。

初期値: (MACアドレス未登録、ブロックしない)



適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

左側サブメニュー

ゲートウェイオプション

IPアドレスフィルタ

MACアドレスフィルタ

ポートフィルタ

ポートフォワード

ポートトリガー

ファイアウォール

詳細設定

ポートフィルタ設定

LAN側の端末に対する不要なトラフィックをポート番号でフィルタリングします。

ポートフィルタリング			
開始ポート	終了ポート	種類	有効
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>

適用

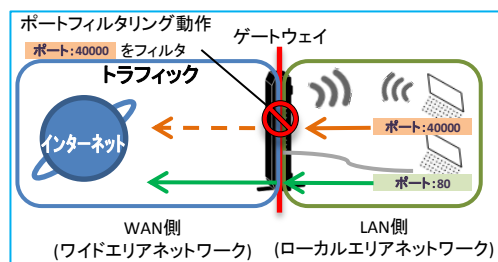
ポートフィルタリング			
開始ポート	終了ポート	種類	有効
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>

TCP
UDP
両方

指定したLAN側のポート番号からのトラフィックをブロックします。

- ・ブロックする開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。
 - ・トラフィックの種類[TCP][UDP][両方]を指定します。
 - ・ブロックする場合は、横の有効にチェックを入れます。
- 最大10件分の範囲を登録できます。

初期値: 無効(ブロックしない)



適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

左側サブメニュー

- ゲートウェイオプション
- IPアドレスフィルタ
- MACアドレスフィルタ
- ポートフィルタ
- ポートフォワード
- ポートトリガー
- ファイアウォール

詳細設定

ポートフォワード設定

LAN側に設置されたWebサーバ、FTPサーバ、メールサーバなどの特定のポート番号のインターネット側からのトラフィックを、LAN側にフォワード(転送)する設定を行います。

ポートフォワード				
IPアドレス	開始ポート	終了ポート	種類	有効
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.1.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.1.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
192.168.1.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>

10件まで登録可能

Application	Port
HTTP	80
FTP	21
TFTP	69
SMTP	25
POP3	110
NNTP	119
Telnet	23
IRC	194
SNMP	161
Finger	79
Gopher	70
Whois	43
rtnet	107
LDAP	389
UUCP	540

適用

ポートフォワード

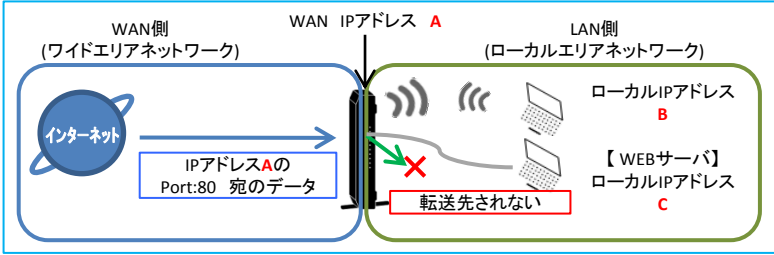
IPアドレス	開始ポート	終了ポート	種類	有効
192.168.0.0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>

WAN側からの特定ポート番号(Webサーバなど)宛のトラフィックをLAN側に転送(フォワード)します。

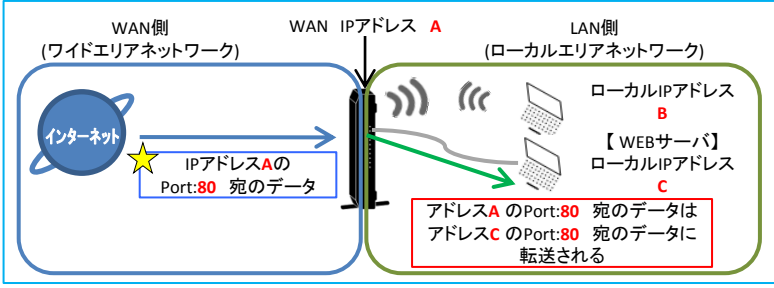
- ・転送先のLAN側のIPアドレスを指定します。
 - ・転送する開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。
 - ・トラフィックの種類[TCP][UDP][両方]を指定します。
 - ・設定を有効にする場合は、横の有効にチェックを入れます。
- 最大10件分の範囲を登録できます。

初期値: 無効(転送しない)

ポートフォワードしない場合



ポートフォワードした場合



設定例

転送先 IPアドレス	ポート 先頭番号	ポート 終了番号	種類	有効
(図上ではアドレスC) 192.168.0.11	80	80	UDP	(チェック)

適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

左側サブメニュー

- ゲートウェイオプション
- IPアドレスフィルタ
- MACアドレスフィルタ
- ポートフィルタ
- ポートフォワード
- ポートトリガー**
- ファイアウォール

詳細設定

ポートトリガー設定

TV会議、電話、ゲームなど双方向で通信する特殊なアプリケーションを使う場合に、トリガーポート番号に設定されたポート番号に対して、LAN側に接続されている端末からデータを受信すると、開放ポートに設定されたポート番号へのインターネット側(WAN側)からのデータは、全てその端末に送信されます。

ポートトリガー					
トリガーポート		開放ポート		種類	有効
開始ポート	終了ポート	開始ポート	終了ポート		
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>

適用

ポートトリガー					
トリガーポート		開放ポート		種類	有効
開始ポート	終了ポート	開始ポート	終了ポート		
0	0	0	0	両方	<input type="checkbox"/>

"トリガーポート"で指定したポート番号宛のトラフィックをLAN側から受信すると、"開放ポート"で指定したポート番号宛のトラフィックをWAN側からLAN側へと開放します。このWAN側からのトラフィックは、トリガーとなったLAN側の端末へ転送します。

- ・トリガーポート: LAN側のトリガーとなるポート番号を指定します。
- ・開放ポート: トリガーを受けた際のWAN側からの開放するポート番号を指定します。
- ・トラフィックの種類[TCP][UDP][両方]を指定します。
- ・設定を有効にする場合は、横の有効にチェックを入れます。最大10件分の範囲を登録できます。

初期値: 無効(開放及び転送しない)

設定例

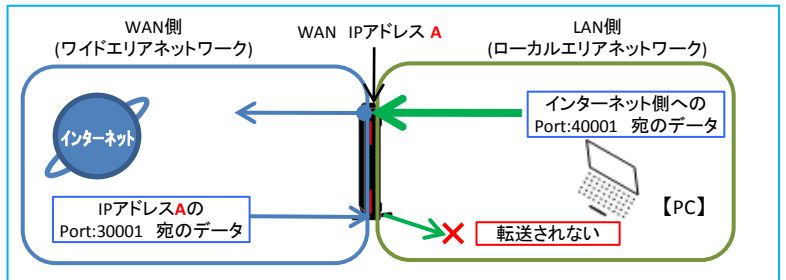
トリガーポート		開放ポート		種類	有効
先頭番号	終了番号	先頭番号	終了番号		
40001	40001	30001	30001	両方	(チェック)



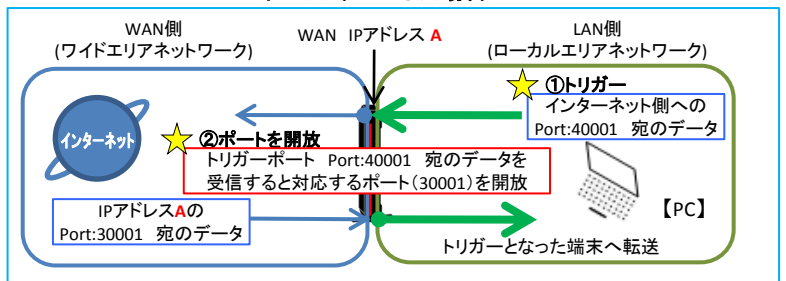
適用

上記の変更内容を反映させる場合に適用ボタンを押します。

ポートトリガーしない場合



ポートトリガーした場合



左側サブメニュー

ゲートウェイオプション

IPアドレスフィルタ

MACアドレスフィルタ

ポートフィルタ

ポートフォワード

ポートトリガー

ファイアウォール

詳細設定

ファイアウォール

Cookieや、Java Scriptや、ポップアップウィンドウをファイアウォールにて、ブロックする設定を行います。

Proxy フィルタ	<input type="checkbox"/> 有効
Cookie フィルタ	<input type="checkbox"/> 有効
Java Applets フィルタ	<input type="checkbox"/> 有効
ActiveX フィルタ	<input type="checkbox"/> 有効
Popup Windows フィルタ	<input type="checkbox"/> 有効
Fragmented IP パケットの禁止	<input type="checkbox"/> 有効
Port Scan Detection	<input type="checkbox"/> 有効
IP Flood Detection	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
Firewall プロテクト	<input checked="" type="checkbox"/> 有効

適用

初期値に戻す



本ページの詳細設定は、必要がある場合以外は変更しないで下さい。

- Proxy フィルタ 有効
 初期値: 無効(フィルタしない)
 有効にすると、プロキシ経由の通信をブロックします。
- Cookie フィルタ 有効
 初期値: 無効(フィルタしない)
 有効にすると、Cookieを受け取らなくなります。
 Cookie を使うWEBサイトの中には、ページ訪問回数や地域などの情報をローカルPCに保存し、次回アクセス時に表示したりします。
- Java Applets フィルタ 有効
 初期値: 無効(フィルタしない)
 有効にすると、WEBブラウザでJava Appletを動作させなくします。
- ActiveX フィルタ 有効
 初期値: 無効(フィルタしない)
 有効にすると、WEBブラウザでActive Xを動作させなくします。
- Popup Windows フィルタ 有効
 初期値: 無効(フィルタしない)
 有効にすると、ポップアップ(広告ページなどの新規のウィンドウ)が表示されなくなります。
 (ポップアップウィンドウの種類により抑制できない場合があります。また、必要なウィンドウまで表示されなくなる場合があります。)
- Fragmented IP パケットの禁止 有効
 初期値: 無効(Fragmented IPパケットを破棄しない)
 有効にすると、分割されたIPパケットを破棄します。
- Port Scan Detection 有効
 初期値: 無効(Port Scanをブロックしない)
 有効にすると、ポートスキャンを検出し、ブロックします。
- IP Flood Detection 有効
 初期値: 有効(IP Floodをブロックします)
 有効にすると、大量のIPパケットが送られた場合に、ブロックします。
- Firewall プロテクト 有効
 初期値: 有効(Firewall機能を有効にします。)
 有効にすると、ファイアウォール機能を有効にします。

適用

初期値に戻す

- ・上記の変更内容を反映させる場合は、[適用]ボタンを押します。
- ・上記の設定内容を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す]ボタンを押します。

無線LAN対応機器情報

パソコンOS	WPS対応	備考
Windows XP	×	OS標準ではWPS非対応*1
Windows Vista	○	OS標準ではWPSのPINコード方式にのみ対応*1
Windows 7	○	OS標準ではWPSのプッシュボタン方式にのみ対応*1
Mac OS X	×	OS標準ではWPS非対応*1

*1:無線LAN端末のアプリケーション等により、対応する場合があります。

機器名	規格	セキュリティ			WPS 対応	備考
		WEP	WPA	WPA2		
Nintendo DS® Nintendo DS Lite®	802.11	○	×	×	×	(2.4GHz帯、最大2Mbps)
Nintendo DSi® Nintendo DSi LL® Nintendo 3DS®	802.11 b/g	○	○	○	○	旧ソフトはWEPのみ対応
Wii®	802.11 b/g	○	○	○	×	有線LANはオプション
PSP® ・PSP-1000 ・PSP-2000 ・PSP-3000 ・PSP-N1000(PSP®go)	802.11 b	○	○ *2	×	×	・WPA(TKIP) ver.2.0以上 ・WPA(AES) ver.2.5以上
PS3® (20Gモデル"CECHBxx"を除く)	802.11 b/g	○	○	○ *2	×	・WPAキー31文字まで ・有線LAN内蔵
XBOX360® ・XBOX360® ・XBOX360®S (XBOX360は無線オプション)	802.11 b/g/n	○	○	○ *2	×	・有線LAN内蔵 ・型番Sから無線LAN内蔵
・iPod touch 第1～3世代 ・iPhone ・iPhone3G ・iPhone3GS	802.11 b/g	○	○	○	×	(日本向け製品)
・iPod touch 第4世代 ・iPhone4	802.11 b/g/n 2.4GHz帯のみ	○	○	○	×	(日本向け製品)
・iPad ・iPad2	802.11 a/b/g/n	○	○	○	×	(日本向け製品)

*2:最新のファームウェアより対応

記載情報については記載時の情報であり変更されている場合があります。

※Microsoft、Windows XP、Windows Vista、Windows 7およびXbox 360は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

※MAC OS X、iPod touch、iPad、iPhone/3G/3GS/4はApple Inc.の登録商標または商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

※NintendoDS/DS Lite/Dsi/DSiLL/3DSおよびWiiは、任天堂の登録商標です。

※PSP/PS3は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

ケーブルテレビ事業者欄

--

2011年 10月 3日 初版発行

発行 株式会社 **ブロードネットマックス**

ご契約のサービス内容などについては、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。